

令和7年度公安委員会との意見交換会 教育長あいさつ

令和8年1月23日（金）
愛媛県庁

公安委員会と教育委員会との意見交換会の開催に当たり、一言、ごあいさつ申し上げます。

佐伯委員長をはじめ公安委員の皆様、そして近藤本部長はじめ警察本部の皆様には、日頃より、本県教育行政の推進、とりわけ、愛媛の次代を担う子どもたちの安全・安心の確保や健全育成に御尽力いただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、昨今、SNS上での誹謗中傷やいじめ、盗撮や生成AIの悪用により性被害を受ける等、児童生徒がネット犯罪に巻き込まれるケースが数多く報道されております。

本県でも、SNSに起因する事犯の被害を受ける児童生徒が増加傾向にあると伺っており、今後、えひめの未来を担う子どもたちがネットによる犯罪やいじめの被害者、加害者にならないよう、正しくスマホやSNS等を活用する知識や能力、他者に配慮して情報を扱う健全な心を育むことが喫緊の課題であると認識しております。

このため、県教育委員会では、家庭、地域、専門機関と一体となって情報モラル、リテラシー教育の充実を目指し、生活の基盤である家庭や地域にはスマホ等のルールづくりやフィルタリングを要請しているほか、警察や通信会社等と連携し、児童生徒や保護者にネットの安全利用に係る啓発を行うなど、相互に連携して未然防止を図り、安心・安全な環境づくりを進めているところです。

また、小・中学生を対象に、人とよりよい関係を築く力を育成するアプリを開発し、1人1台端末上で運用しているほか、全小中学校をオンラインでつなぐ県内一斉ライブ授業の開催を通じて、いじめの起こりにくい学校づくりを児童生徒が主体的に考える機会を創出しています。

このほか、今年度は、フェイクニュースや誹謗中傷等を生成A I との対話を通して疑似体験することにより、情報の正しい活用能力と自律的な行動規範を身に付けるアプリの開発も進めるなど、SNS へのリテラシー教育を推進しております。

本日は、「スマホによるいじめ及び犯罪防止対策」をテーマに活動報告及び意見交換をさせていただきますが、本日の意見交換会を通じて、公安委員会と教育委員会との連携を更に深め、引き続き、子供たちの生命や安全に関わる痛ましい事案の未然防止に、全力で取り組んでいきたいと考えております。

本日は、どうかよろしくお願いいたします。